

数字である。30年もの間、同じ職種をみていると感じることがある。情報社会の今、医療業界においてもエビデンス(根拠)に基づく治療が重要とされ、若いPTの情報収集能力には目を覚ますものがある。

しかし、開拓精神はいささか影を潜め、これからの時代をクリエイトしようとする者は少なくなつたようにも感じる。また、社会においても責任やリスクを可能な限り回避し、何事も無難に、安全にこなす傾向を感じるものが少なくない。

初代校長小松先生は、県陵の三大精神において形式より実践を重んじ、自主性の重要性を説いたとされる。形式やシステムの必要性はいままでもないが、

落語の修業中

高52回 北村 圭大

落語家 柳家 圭花

落語家の柳家圭花です。

この場をお借りして自己紹介と落語界の紹介を致します。

私は大学卒業後はサラリーマンでしたが、休日にフラッと寄席に行ったことから落語に興味を持ち、毎週観に行くようにな



30年前の若き頃

実践や経験から得られる人の感覚・印象といった感性は今一度、重要視されるべきであると思う。私はもう、50歳を過ぎてしまつたが、県陵の卒業生として形式にとらわれず、これからも自己の感性を磨いてゆきたいと思う。



りました。

1人で喋るだけで何百人というお客さんを笑わせ、泣かせ、感動させる落語家を格好いいと思ひ、いつか自分もやりたいと思つていました。

落語家になるにはまず弟子入りをしなければなりません。



2017年(平成29年)3月15日 大糸タイムス

私は柳家花緑という師匠に弟子入りしました。師匠の落語はもちろん、人との接し方にも惚れ師匠を選びました。落語界には身分制度があり、下から前座、二ツ目、真打といひます。私は現在二ツ目という身分ですが、入門するとまず前座として寄席の楽屋で毎日休みなく働くこととなります。この前座修業が大変で、もう一度前座修業をやれと言われたら逃げ出す落語家も多いと思ひます。



2017年(平成29年)6月21日 大糸タイムス

真打になつても一生勉強という稼業ですのでこれからも修業は続きます。また気遣いと臨機応変な対応が常に求められます。この頃を振り返ると、落語家は目の前の人を喜ばすことができないとお客様を喜ばすことはできないと修業中によく言われたことを思ひ出します。

皆さんの中には落語は敷居の高いものと思つている方もいるかも知れませんが、是非一度、生で落語を観てみて下さい。そうでない事が分かると思ひます。私も皆さんの前で落語ができる日を楽しみにしております。

総合建設業・一級建築士事務所・宅地建物取引業

ひとに優しい未来を創る

ASUPIA
AMENITY, SECURITY & UTILITY for UTOPIA

株式会社 **アスピア**

代表取締役 百瀬方康(高22回)

本社：長野県松本市宮路1-3-30 〒390-8639
TEL 0263-32-8855 FAX 0263-35-1618

天神 **深志神社**

TEL 0263-32-1214

深志神社 梅風閣

TEL 0263-32-6310

宮司 遠藤久芳(高19回)一九会

〒390-0815 松本市深志3-7-43
FAX (0263)32-5908

TADACHIYA
SINCE 1848

徳田立屋

代表取締役 大宮康彦(高17回)

長野県松本市大手3-3-4(大名町)
TEL 0263(32)0057 FAX 0263(34)2561